

最終更新日	年 月 日
-------	-------

氏名	
----	--

障害名 (診断名)	
--------------	--

1 職務経歴 (これまで職場や福祉サービス事業所で従事した職務と期間を記入(受障前のもも含む))

--

2 仕事上のセールスポイント(コミュニケーション・作業遂行面のセールスポイントや自分の強みが発揮できると思われる職種・作業内容を記入)

--

3 体調管理と希望する働き方

	自分の特徴 ※該当するものに☑(複数選択可)
ストレス・ 疲労	<input type="checkbox"/> ストレス等を感じやすい状況・場面
	<input type="checkbox"/> ストレス等のサイン(例:肩がこる、口数が減る、寝付きが悪くなる、食欲が減る等)
	<input type="checkbox"/> 対処方法(自分で取り組むこと、配慮してほしいこと)
通院のため の休暇	<input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり(頻度・曜日・時間帯 :)
服薬管理 のための 配慮 ※服薬ありの 場合に記入	<input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり ※具体的内容→

希望する働き方	1日の勤務時間	<input type="checkbox"/> フルタイム(時分～時分) <input type="checkbox"/> フルタイム以外(時分～時分) <input type="checkbox"/> フルタイム以外から始めて段階的に延ばしたい →具体的希望()
	1週間の勤務日数	<input type="checkbox"/> 当初から固定→週 _ 日勤務を希望 <input type="checkbox"/> 勤務日数を段階的に延ばしたい(具体的希望→)
	作業環境	避けたいもの <input type="checkbox"/> 音(機械音、人の話し声等) <input type="checkbox"/> 照度 <input type="checkbox"/> におい <input type="checkbox"/> 屋外作業 又は 配慮を望むもの <input type="checkbox"/> 高所 <input type="checkbox"/> 閉所 <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> その他()
		↓ 希望する配慮
	休憩の取り方	<input type="checkbox"/> 静かな場所・部屋がよい <input type="checkbox"/> 一人で過ごす方がよい <input type="checkbox"/> 特に希望なし <input type="checkbox"/> その他()
	体調に応じた業務量や作業内容・方法等の調整	<input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり ※具体的内容→ []
業務を安定して遂行するために必要な機器、設備調整	(例)イヤーマフ(ノイズキャンセリングヘッドフォン)、パーティション、休憩スペースなど	
その他	(自由記述)	

4 コミュニケーション面

自分の特徴 ※該当するものに☑(複数選択可)	
4-1 会話、意思表示	<input type="checkbox"/> 電話応対・接客などの対人業務で求められる柔軟なコミュニケーションができる <input type="checkbox"/> 決まった場所やタイミングでの挨拶・報告など定型的なコミュニケーションができる <input type="checkbox"/> 仕事に必要な会話は自分からできる <input type="checkbox"/> 慣れれば自分から話しかけられるが、慣れるまでの間は声をかけてもらえた方が話しやすくなる <input type="checkbox"/> 相手や場面に応じたやりとりの仕方(表情、視線、言葉遣い等)は、具体的に教えてもらうことで徐々に身につけていくことができる <input type="checkbox"/> その他 []
4-2 相手の気持ちや考えの理解・推察	<input type="checkbox"/> 相手の話の内容、表情・身振り、声の調子をもとに推察することができる <input type="checkbox"/> 推察は苦手だが、質問して相手の気持ちや考えを確かめることができる <input type="checkbox"/> 気持ちや考えは、言葉で明確に伝えてもらう方が分かりやすい <input type="checkbox"/> その他 []

5 作業遂行面

		自分の特徴 ※該当するものに☑(複数選択可)	自分で対処していること
指示内容・指示系統の理解	5-1 指示内容	<input type="checkbox"/> 判断基準を具体的に伝えてもらえるとうい(「あれ・これ」「だいたい」等の抽象的な表現ではなく、「いつまで・何を・どの程度」等を具体的に示してもらえるとうい) <input type="checkbox"/> メモが追いつくスピードで話をしてもらえるとうい <input type="checkbox"/> 指示が長くなる場合は、ポイントを具体的・簡潔に示してもらえるとうい <input type="checkbox"/> 一度の指示数は限定してもらえるとうい	
	5-2 理解しやすい方法	<input type="checkbox"/> 口頭説明 <input type="checkbox"/> 見本の提示 <input type="checkbox"/> 文章での説明 <input type="checkbox"/> 写真・図・絵での説明 <input type="checkbox"/> 作業手順書・マニュアル	
	5-3 指示系統	<input type="checkbox"/> 2つ以上の指示系統に適切に対応できる <input type="checkbox"/> 指示系統の一本化が望ましい(指示・報告等のやりとりは特定の担当者が対応) <input type="checkbox"/> 担当者不在の場合、代わりに質問・報告等をすべき相手が分かっているとよい	
	5-4 その他	(自由記述)	

		自分の特徴 ※該当するものに☑(複数選択可)	自分で対処していること
段取り、優先順位づけ、変化への対応	5-5 作業開始時の段取り、優先順位づけ	<input type="checkbox"/> 2つ以上の作業指示を受けた際、自力で段取りをつけられる <input type="checkbox"/> 経験のある作業であれば、2つ以上の作業指示にも自力で段取りをつけられる <input type="checkbox"/> 2つ以上の作業指示については、経験の有無にかかわらず具体的な段取りを教えてもらえれば対応できる	
	5-6 作業途中での変化への対応*	<input type="checkbox"/> 自力で対応できる <input type="checkbox"/> 経験のある作業であれば、自力で対応できる <input type="checkbox"/> 具体的に対応方法を教えてくれる人がいれば対応できる <input type="checkbox"/> 変化があることを早めに伝えてもらえれば対応できる ※優先順位の判断、所要時間の見通し、関連する人との調整等をいいます。	
	5-7 その他	(自由記述)	

		自分の特徴 ※該当するものに☑(複数選択可)	自分で対処していること
5-8 正確性		<input type="checkbox"/> 作業手順を習得するまでは、作業速度よりも正確さを優先してもらえるとうい <input type="checkbox"/> 正誤の判断基準、効果的・効率的な確認方法を具体的に教えてもらえるとうい <input type="checkbox"/> 当初、正確にできているか作業結果をチェックしてもらえるとうい(正しくできていることがわかると、その後安定して作業に取り組める)	
5-9 作業速度		<input type="checkbox"/> 流れ作業に対応できる <input type="checkbox"/> 単独作業(比較的自分のペースで取り組める作業)の方が取り組みやすい <input type="checkbox"/> 急ぐ必要がある場面で、正確さを維持しつつ作業速度を上げられる	

	自分の特徴 ※該当するものに☑(複数選択可)	自分で対処していること
5-10 集中力、持続力、安定性	<input type="checkbox"/> 終日安定して作業に取り組める <input type="checkbox"/> 集中力を維持するための取組・工夫策を持っている(→右欄に記載) <input type="checkbox"/> 途中で小休憩があれば1日()時間、安定して作業ができる →休憩のタイミング・頻度(例:午前・午後に1回5分ずつ、90分ごとに5分など)	
5-11 作業に伴う確認・質問・報告	<input type="checkbox"/> 自分で適時できる <input type="checkbox"/> タイミング・内容・相手等が予め分かっている	
5-12 他者との共同作業	<input type="checkbox"/> まわりの人と随時打合せをしながら対応できる <input type="checkbox"/> 役割分担が具体的に分かれば対応できる <input type="checkbox"/> リーダーの指示がその都度あれば対応できる <input type="checkbox"/> 自分のペースで取り組むことができれば対応できる	
5-13 その他	(自由記述)	

	自分の特徴 ※該当するものに☑(複数選択可)	自分で対処していること
5-14 結果の評価、向上・改善に向けた目標の設定と実行	<input type="checkbox"/> 仕事ぶりの評価、それに基づく目標設定を適切に(概ね適切に)自分でできる <input type="checkbox"/> 指導・注意は穏やかな口調で、ミスの原因・改善策を具体的に伝えてもらえる <input type="checkbox"/> 何がどこまでできているのか(できていないのか)、次にどのような目標に取り組めばよいか等、仕事ぶりの評価と目標設定については、具体的な助言があるとよい <input type="checkbox"/> 助言を受ける機会が定期的にあるとよい(特に就職後の一定期間) <input type="checkbox"/> できていることを具体的に伝えてもらえる、モチベーションを維持しやすい	
5-15 その他	(自由記述)	

就職後の自己チェック

(「4 コミュニケーション面」、「5 作業遂行面」の記載内容のうち、変化したと感じる項目(番号)を記入→職場・支援機関の担当者と一緒にふり返りを)

チェック時期	変化したと感じる項目
<input type="checkbox"/> 就職()か月後	
<input type="checkbox"/> 就職()か月後	
<input type="checkbox"/> 就職()か月後	
<input type="checkbox"/> 就職()年後	

【参考:支援機関】(利用している就労支援機関、福祉機関、医療機関等のうち、職場定着にとって重要と考える機関を記載)

支援機関名	連絡先	利用している支援の内容

職場定着に向けた情報共有ツール

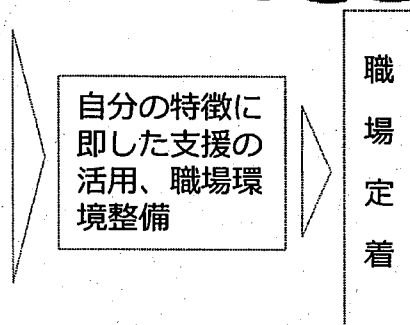
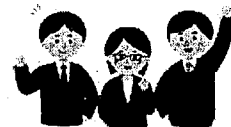
精神障害のある方等の **就労パスポート** をご活用ください！

就労パスポートは、職場定着に向けて、働く上での自分の特徴やセールスポイント、希望する配慮等を支援機関とともに整理し、職場や支援機関と円滑に情報共有するためのツールです。

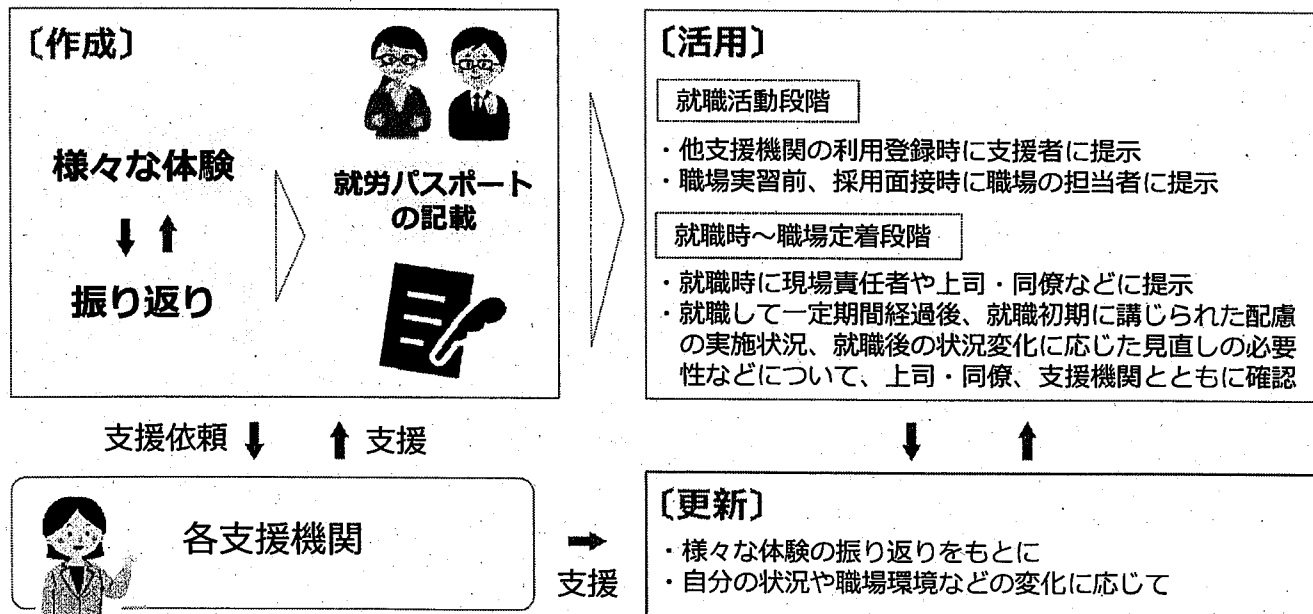
就職活動中や就職時、就職後など、職場定着に向けて必要な支援や職場環境整備について、職場や支援機関と一緒に話し合う場面で活用します。

作成・活用のメリット

自己理解を深める	職場定着にとって重要な観点から自分の強み、特徴等を見つめ直し、理解を深めることができます。
自分の特徴を分かりやすく伝える	事業主等に伝えたい自分の特徴や希望を所定の項目に沿って整理し、具体的に伝える手段として活用できます。
支援者に自分の特徴を理解してもらおう	支援機関を活用しながら作成することにより、支援者に自分の特徴等を理解してもらえ、支援が受けやすくなります。



作成・活用・更新の流れ



就労パスポートの保管はご本人が行います

作成・更新した就労パスポートは、ご本人が保管します。また、事業主や支援機関に提供する際には、ご本人が希望する範囲の対象者に限ることができます。なお、事業主や支援機関に対して記載内容を説明する際、基本的にはご本人が主体となって行いますが、必要に応じて支援機関に説明の支援を依頼することができます。

精神障害者等の就労パスポートの就労支援機関での試行について（案）

1 趣旨・目的

精神障害者等の就労パスポートの試行版について、就労支援機関で実際に使用してもらい、障害者本人、支援者、事業主の意見を収集する。

2 実施時期

2019年6月～8月

3 対象（以下（1）～（4）で10機関程度）

（1）ハローワーク

- 検討会参集者の所属機関
- 試行を実施する以下の各就労支援機関を管轄するハローワーク

（2）障害者就業・生活支援センター

- 検討会参集者の所属機関 等

（3）就労移行支援事業所

- 検討会参集者の所属機関 等

（4）障害者職業センター

- 検討会参集者の所属機関

4 実施方法

試行を実施する就労支援機関（上記3（2）～（4））において、支援対象者に就労パスポートの趣旨、目的、活用方法等を説明し、同意が得られた場合に当該支援対象者の就職前、就職時、就職後の職場定着支援において就労パスポート（試行版）を作成し、活用する。当該就労支援機関を管轄するハローワーク（上記3（1））においては、就職前の職場実習のあっせんや就職時の職業紹介に際して就労パスポートを活用している支援対象者について、就労支援機関と連携して事業主への説明や情報共有を行うとともに、求職者を当該就労支援機関に誘導する際には、就労パスポートの活用が有効と考えられる求職者（精神・発達・高次脳機能障害者で一定程度の職業準備性のある者）に対して活用を勧奨する。

その際、別添により障害者本人、支援者、事業主から意見を聴取することとし、原則として、障害者本人及び支援者の意見は就労支援機関から、事業主の意見はハローワークに集約して収集する。

5 聴取項目（別添様式による）

（1）活用事例

- ・ 作成の時点（就職前、就職後）
- ・ 作成方法（面談、アセスメント、他機関からの情報、職場実習）
- ・ 活用の時点（今後の予定も含む）（就職前、就職時、就職後の職場定着支援）
- ・ 情報共有の範囲（支援機関の種類別、事業主、その他）
- ・ 活用の効果

（2）就労パスポート（試行版）への意見

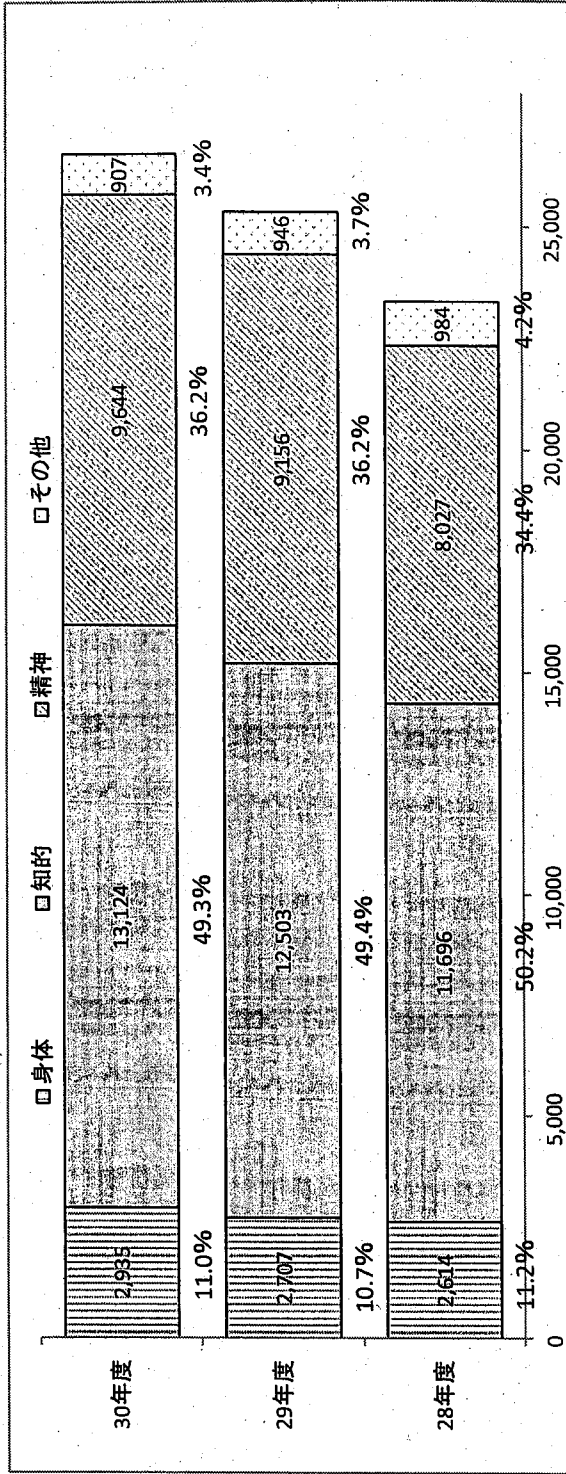
- 就労パスポートの完成版を活用しやすくするための意見
- 各項目や指標への意見

平成30年度区市町村障害者就労支援センター実績

○登録者数(障害種別)

	28年度	29年度	30年度
登録者数(実人数)	22,588	24,267	25,929
内 訳			
身体	2,614	2,707	2,935
知的	11,696	12,503	13,124
精神	8,027	9,156	9,644
その他	984	946	907

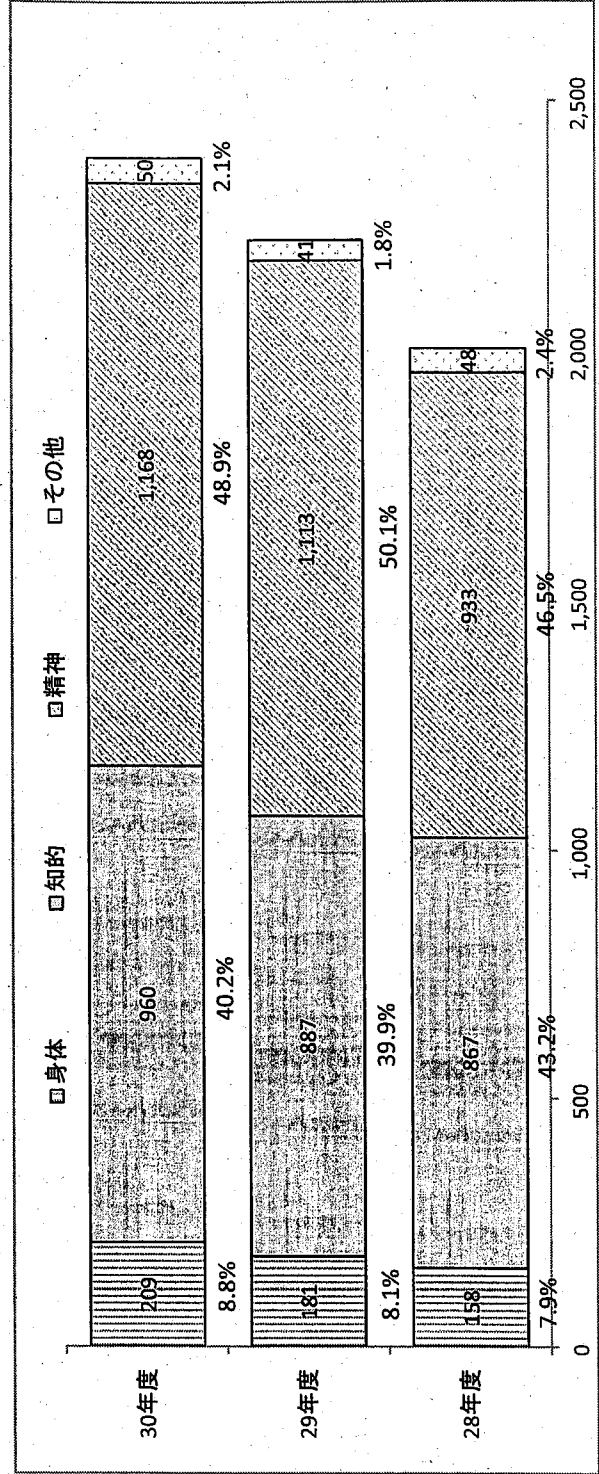
※重複障害者がいるため、障害別内訳の合計と一致しない。



○就職者数(障害種別)

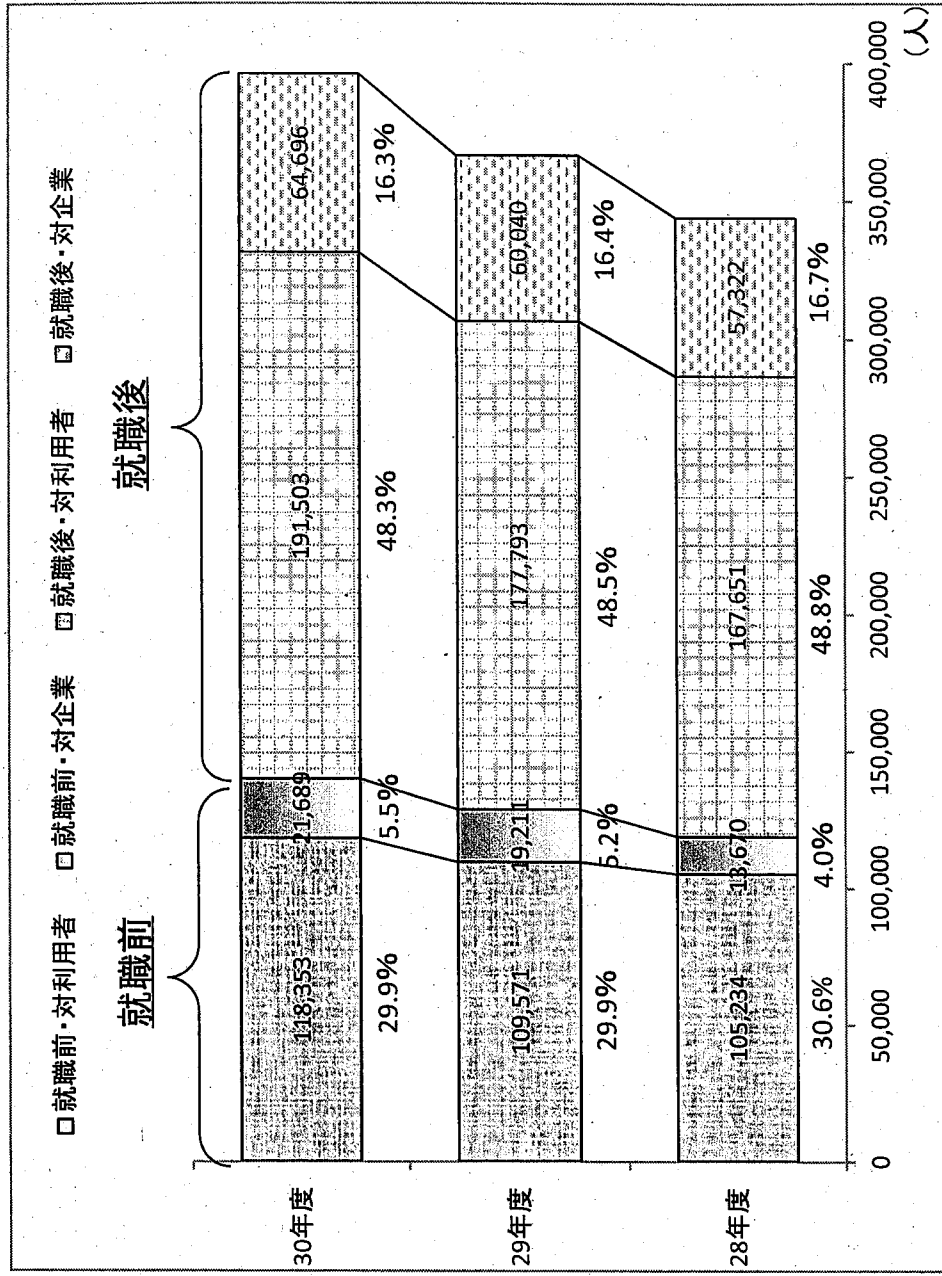
	28年度	29年度	30年度
就職者数(実人数)	1,913	2,139	2,272
内 訳			
身体	158	181	209
知的	867	887	960
精神	933	1,113	1,168
その他	48	41	50

※重複障害者がいるため、障害別内訳の合計と一致しない。



○支援件数の内訳(区市町村障害者就労支援センター登録者)

	28年度	29年度	30年度
来所	就職前・対利用者	30,422	34,216
	就職前・対企業	713	1,236
	就職後・対利用者	38,310	44,823
	就職後・対企業	1,222	1,306
電話・メール	就職前・対利用者	54,635	57,605
	就職前・対企業	8,515	12,198
	就職後・対利用者	95,072	99,611
	就職後・対企業	32,442	34,589
訪問	就職前・対利用者	13,990	14,164
	就職前・対企業	3,774	5,171
	就職後・対利用者	24,265	26,288
	就職後・対企業	21,009	22,918
その他	就職前・対利用者	6,187	4,359
	就職前・対企業	668	848
	就職後・対利用者	10,004	7,071
	就職後・対企業	2,649	1,227
合計	就職前・対利用者	105,234	109,571
	就職前・対企業	13,670	19,211
	就職後・対利用者	167,651	177,793
	就職後・対企業	57,322	60,040



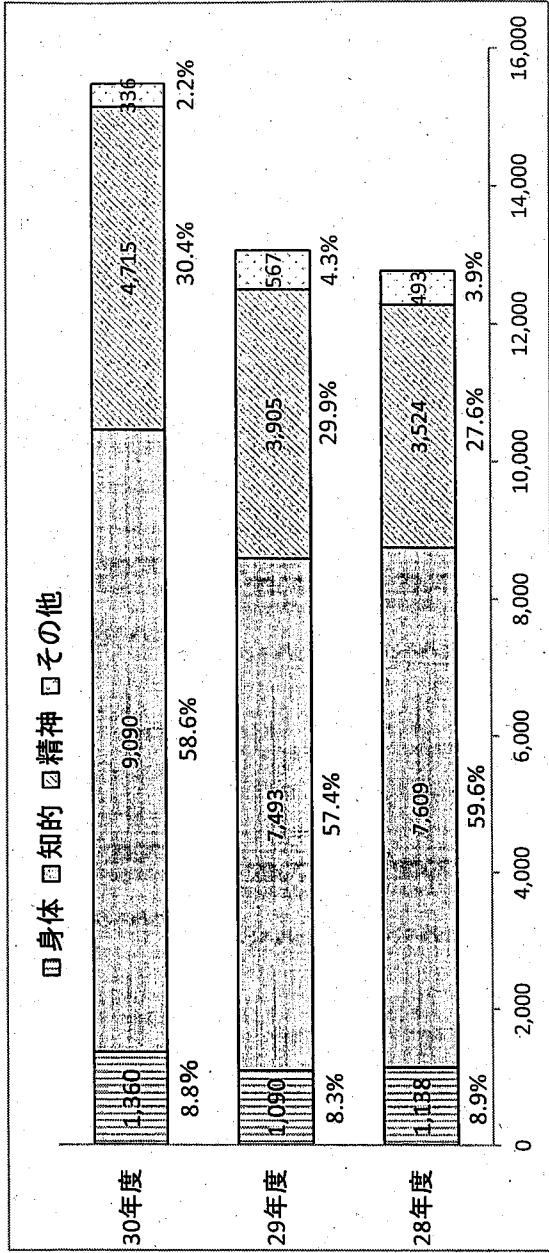
○就労継続者数の状況

	28年度	29年度	30年度
翌年度就労継続者数(実人数)	11,984	12,852	15,301
身体	1,138	1,090	1,360
知的	7,609	7,493	9,090
精神	3,524	3,905	4,715
その他	493	567	336

※重複障害者があるため、障害別内訳の合計と一致しない。

(参考)

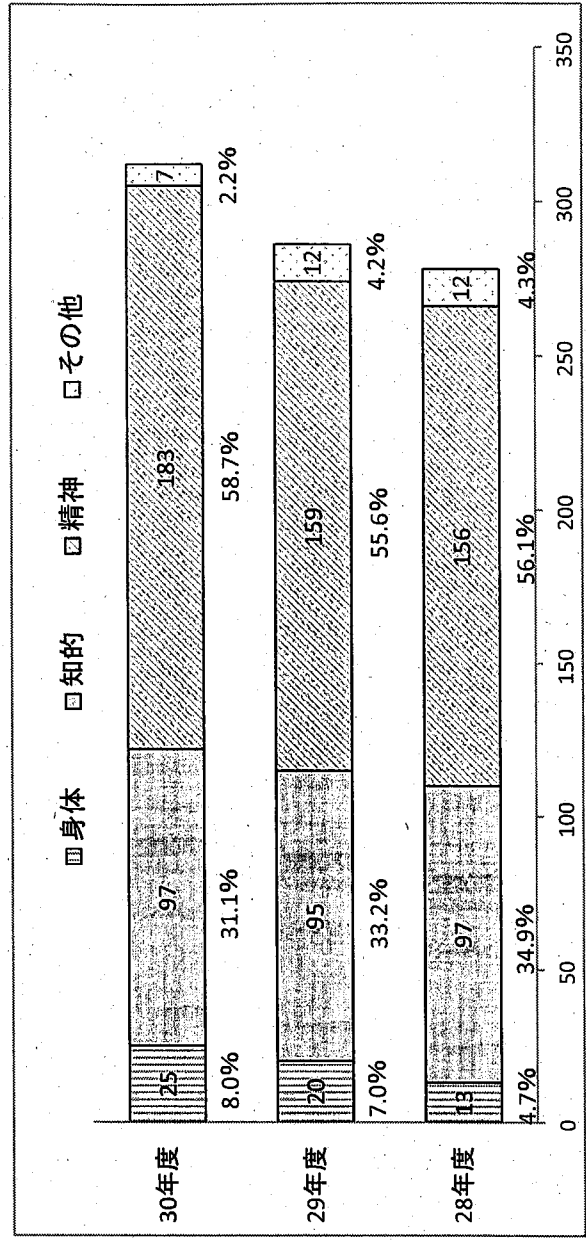
	28年度	29年度	30年度
登録者数に占める就労継続者の割合	53.1%	53.0%	59.0%
身体	43.5%	40.3%	46.3%
知的	65.1%	59.9%	69.3%
精神	43.9%	42.6%	48.9%
その他	50.1%	59.9%	37.0%



○新規就職者の離職状況

	28年度	29年度	30年度
新規就職者数(実人数)(A)	1,913	2,139	2,272
うち当該年度中に離職した人数(B)	278	286	312
離職率(B÷A)(%)	14.5%	13.4%	13.7%
身体	158	181	209
うち当該年度中に離職した人数	13	20	25
離職率(B÷A)(%)	8.2%	11.0%	12.0%
知的	867	887	980
うち当該年度中に離職した人数	97	95	97
離職率(B÷A)(%)	11.2%	10.7%	10.1%
精神	933	1,113	1,168
うち当該年度中に離職した人数	156	159	183
離職率(B÷A)(%)	16.7%	14.3%	15.7%
その他	48	41	50
うち当該年度中に離職した人数	12	12	7
離職率(B÷A)(%)	25.0%	29.3%	14.0%

※重複障害者があるため、障害別内訳の合計と一致しない。



都内区市町村の就労支援機関の配置状況(令和元年6月1日現在)

圏域	区市町村	区市町村障害者就労支援センター	就労移行支援	就労定着支援	障害者就業・生活支援センター	ハローワーク
多摩北部	立川市	1	9	7		立川
	国立市	1	3	2		
	小金井市	1	3	2		
	小平市	1	2	3		
	国分寺市	1	2			
	武蔵野市	1	11	3	オープンナー	
	三鷹市	1	4	2		
	西東京市	1	3	1		
	調布市	2	8	3		
	狛江市	1				
多摩南部	府中市	1	6	4		府中
	多摩市	1	1			
	稲城市	1				
	八王子市	1	13	8	TALANT	八王子
	日野市	1	3	1		
	町田市	2	11	6		町田
	清瀬市	1	1			
	東久留米市	2	2	1		
	昭島市	1	4			
	東村山市	1	3	2		
多摩西部	東大和市	1	1			立川
	武蔵村山市	1	1	1		
	青梅市	1	3	2	けるん	
	福生市	1	4	1		
	あきる野市	1				
	羽村市	1	1	1		
	日の出町	1				
	瑞穂町	1	1			
	市町村 合計	31	100	50		
	合計	59	344	190		

圏域	区市町村	区市町村障害者就労支援センター	就労移行支援	就労定着支援	障害者就業・生活支援センター	ハローワーク	
城北	千代田区	1	16	9		飯田橋	
	中央区	1	3	2			
	文京区	1	9	4			
	台東区	1	7	4	ワーキング・トライ	台東	
	豊島区	1	15	9			
	板橋区	1	8	6		池袋	
	練馬区	1	11	6			
	北区	2	12	7		王子	
	城東	墨田区	1	8	3		墨田
		葛飾区	1	10	5		
		荒川区	1	6	4	WEL'S TOKYO	足立
		足立区	1	15	11		
		江東区	1	10	3		木場
		江戸川区	1	15	8		
城南		港区	1	8	6		品川
		品川区	1	6	4		大森
		大田区	1	14	10		
		新宿区	1	20	14	アイキャリア	新宿
	中野区	1	11	4	ア		
	杉並区	1	8	4			
	目黒区	1	5	2			
	世田谷区	5	14	9		渋谷	
	渋谷区	1	13	6			
	区部 合計	28	244	140			

平成30年度 精神障害者就労定着支援連絡会 実施状況

実施者	テーマ	日程	参加者計	開催場所	連携に資するツール作成内容
社会福祉法人 JHC板橋会	第1回 「就労継続には何が大切なのか？」	9月18日	85	LMJ 東京研修センター	精神障害者のより良い就労/定着/連携に向けたQ&A
	第2回 当事者&企業より「働き続けるポイントは？」	11月27日	87		
	第3回 「障害者雇用における医療機関との付き合い方」	12月18日	74		
	第4回 「精神障害者のより良い就労/定着/連携に向けた提言～平成30年度連絡会事業まとめ」	2月26日	62		
特定非営利活動法人 まひろ	第1回 「精神障害者就労の基礎知識～障害者雇用の現状と就労支援ネットワークについて～」	8月21日	108	FORUM8 (渋谷区道玄坂 新大宗ビル)	合理的配慮共有シート(仮称)
	第2回 「雇用における企業の役割～職場定着と自立の視点～」	10月24日	83		
	第3回 「医療機関からみた就労支援の必要性」	12月10日	95		
	第4回 「精神障害者のための「情報共有ツール」について」	2月19日	72		
特定非営利活動法人 WEL'S	第1回 「職場定着の現状と課題」	7月2日	72	千代田プラットフォームスクエア	エコマップ
	第2回 「連携のありかた」	9月7日	58		
	第3回 「就労現場での医療情報活用方法」パネルディスカッション	12月2日	77	ハロー貸会議室 秋葉原	
	第4回 「定着支援の一つのカタチ～SPIS活用方法」	2月1日	88	エッサム神田 2号館	
社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会	第1回 「病気の理解」	8月30日	141	立川 グランドホテル	採用面接シート
	第2回 「発達障害者の定着支援」	10月31日	130		
	第3回 「当事者に学ぶ就労定着とは？」	1月18日	128		
	第4回 「精神障害者の採用面接について&精神障害者就労定着支援連絡会事業報告会」	3月13日	92		
特定非営利活動法人 青少年自立援助センター	第1回 「定着支援の今を考える。」	8月31日	70	福生市市民会館	西多摩地区の就労・定着にかかる課題・ニーズ
	第2回 「成功事例から見る医療連携」	10月19日	62		
	第3回 「語り合おう！定着支援あるある—医療の立場から考える就労定着支援」	12月6日	59		
	第4回 「統合失調症、気分障害についての理解」	3月15日	67		
特定非営利活動法人 わかき福祉会	第1回 「企業から見た定着支援」	8月30日	80	八王子学園都市センター	用語集 第1回～第5回アンケートのまとめ
	第2回 「医療から見た定着支援」	10月4日	89		
	第3回 「就労支援センターの立場から見た定着支援」	11月30日	75	町田市文化交流センター	
	第4回 「教育の立場から見た定着支援」	1月18日	67	イオンモール多摩平の森	
	第5回 「就労移行支援事業所の立場から見た定着支援」	2月1日	56	パルテノン多摩第一会議室	
	第6回 「それぞれの立場から見た定着支援を考える～見える景色を集めて～」	3月1日	68	マロウドイン八王子2F 鳳凰	
参加者合計			2145		

【テーマ】

精神障害者の就労と定着を進めるための関係機関の連携について

【導入】

- 平成30年度に法定雇用率が2.2%に引き上げられ、精神障害が算定根拠に加わり、1年が経過している。雇用率改定の影響を踏まえて、現在明らかになっている課題を共有することによって、今後の関係機関連携をさらに強化する必要
- 今回は、地域での連携の促進に焦点をあて、都内6地域で現在実施している精神障害者就労定着連携促進事業の「連絡会事業」について1年間の事業実施を通して、見えてきた課題や今後の取り組みについて報告
- 6地域のうち、区部と多摩地区からそれぞれ1地域ずつ、連絡会事業の実施状況について説明

【議論】

- 精神障害者の就労促進と就労定着支援に向け、就労支援機関と企業・医療機関との連携をより深めるための意見交換